

01.10.2004

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

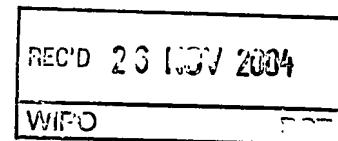
別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application: 2003年10月 9日

出願番号
Application Number: 特願 2003-351013
[ST. 10/C]: [JP 2003-351013]

出願人
Applicant(s): トーソー株式会社

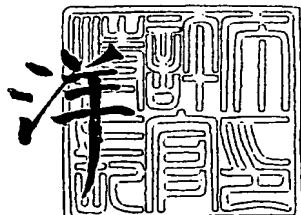


PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2004年11月12日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小川



BEST AVAILABLE COPY

【書類名】 特許願
【整理番号】 TS03-00020
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 A47H 13/04
A47H 15/00

【発明者】
【住所又は居所】 東京都中央区新川1丁目4番9号 トーソー株式会社内
【氏名】 坂倉 義信

【特許出願人】
【識別番号】 000109923
【氏名又は名称】 トーソー株式会社

【代理人】
【識別番号】 100073988
【弁理士】
【氏名又は名称】 川上 肇

【手数料の表示】
【予納台帳番号】 014340
【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】
【物件名】 特許請求の範囲 1
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1
【包括委任状番号】 9704084

【書類名】特許請求の範囲**【請求項1】**

カーテンレール長手方向に垂直なカーテン又はカーテンテープのフック通し穴部に挿入される平板状の本体部と、前記本体部の下端中央から上方へ折れて前記フック通し穴部に掛かる足部と、前記本体部の上端中央から延長する軸部と、前記軸部の先端に形成された差込用頭部又はリング用フックとからなることを特徴とするカーテン用フック。

【請求項2】

本体部とフック通し穴部のカーテンレール長手方向幅は略同一であること特徴とする請求項1記載のカーテン用フック。

【請求項3】

足部は本体部より細幅であり、前記本体部は前記足部と対面する部分に前記足部より広幅の切り欠き部を有すること特徴とする請求項1又は2記載のカーテン用フック。

【請求項4】

足部は、カーテン側に突起を有すること特徴とする請求項1ないし3のいずれか1つに記載のカーテン用フック。

【請求項5】

本体部の上端両側は上方に突出してピン部を形成することを特徴とする請求項1ないし5のいずれか1つに記載のカーテン用フック。

【請求項6】

カーテンレール内を走行する本体と、前記カーテンレールから垂下する前記本体の脚部と、前記脚部に鉛直軸を中心に回転可能に支持される円筒体と、前記円筒体に支持されるリングフック用リング又は差込フック用軸受部を備えるカーテン用ランナーにおいて、前記脚部の両側にピン受けが設けられることを特徴とするカーテン用ランナー。

【書類名】明細書

【発明の名称】カーテン用フック及びランナー

【技術分野】

【0001】

本発明は、偏平で広幅なカーテン用フック及びカーテン用ランナーに関する。

【背景技術】

【0002】

カーテン用ランナーに対して鉛直に回転可能に垂下する偏平で広幅なカーテン用フックにカーテンを吊り下げるとき、カーテン用フックはひだを描くカーテンに逆らわずに、カーテンと一体回転するので、カーテンは自然で優美なひだを発現する。

【0003】

カーテンに優美なひだを描かせる偏平で広幅なカーテン用フックは、実公平5-22145号公報により公知である。このカーテン用フックは、カーテンテープと一体であり、テープ本体面に、一定間隔を以て、上辺に差込フックを設けた横長の取付板を接着してなる。この差込フックはカーテン用ランナーに対して鉛直に回転可能に垂下し、取付板は偏平で広幅であるから、吊り下げたカーテンは、自然で優美なひだを発現する。

【0004】

しかし、従来の偏平で広幅な差込フックは、カーテンテープと一体であるため、ひだの幅も一定となり、ひだの幅を自由に調整することができないという問題があった。また、従来のカーテン用ランナーは、フックの方向を規定することができないため、カーテンの先頭又は末尾部分にひだを発現させることは困難であった。さらに、従来の偏平で広幅なカーテン用フックは、差込式のため、通常のリングフック式カーテンランナーに使用することはできなかった。

【特許文献1】実公平5-22145号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

本発明は、上記問題を解決するためになされたものであり、その課題は、カーテンテープに脱着可能な偏平で広幅なカーテン用差込フック及びリングフックを提供すること、並びに、カーテン用フックの向きを規定することができるカーテン用ランナーを提供することである。

【課題を解決するための手段】

【0006】

前記課題を解決するため、本発明が採用する手段の第一は、カーテン用フックをカーテンテープとは別体とし、そのカーテン用フックを、平板状の本体部と、その本体部の下端中央から上方へ折れる足部と、本体部の上端中央から延長する軸部とから形成し、本体部とカーテンテープのフック通し穴のカーテンレール長手方向幅を略同一とし、軸部の先端に差込用頭部又はリング用フックを設けることである。好ましくは、本体部の上端両側を延長してピン部とする。

【0007】

手段の第二は、カーテンレール内を走行する本体と、カーテンレールから垂下する本体の脚部と、脚部に鉛直軸を中心に回転可能に支持される円筒体と、円筒体に支持されるリングフック用リング又は差込フック用軸受部受を備えるカーテン用ランナーにおいて、脚部にカーテン用フックのピン部を拘束するためのピン受けを設けることである。

【発明の効果】

【0008】

本発明のカーテン用フックは、カーテンテープとは別体であり、平板状の本体部と、その本体部の下端中央から上方へ折れる足部と、本体部の上端中央から延長する軸部とから形成され、軸部先端には差込用頭部又はリング掛けフックが形成され、本体部とカーテン又はカーテンテープの広幅なフック通し穴のカーテンレール長手方向幅は略同一であるこ

とが特徴である。この特徴により、本体部をカーテン又はカーテンテープのカーテンレール長手方向に垂直で広幅なフック通し穴部に挿入して掛止めすると、吊り下げたカーテンは、自然で優美なひだを発現する。発現するひだの幅は、カーテン用フックを掛止めするカーテン又はカーテンテープのフック通し穴部同士の間隔を選択することにより、カーテンに合わせて自由に調整するができる。

【0009】

ひだが発現しにくいカーテンの先頭部分又は末尾部分を吊り下げるマグネット式カーテン用ランナー等において、カーテン用フックの本体部の上端部両側から延長するピン部を設け、ランナー本体脚部の両側にそのピン部を拘束するピン受けを設けると、カーテン用フックを介してカーテンの先頭部分又は末尾部分のカーテン面の方向を規定することができる、カーテンの先頭部分又は末尾部分にもひだを発現させることが可能となる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0010】

カーテン用フックを、カーテンテープのフック通し穴部に挿入される平板状の本体部と、本体部の下端から上方へ折れてフック通し穴に掛かる足部と、本体部の上端から延長し先端が太い頭部に形成される軸部と、軸部の先端に設ける差込用頭部又はリング用フックとから形成し、本体部とフック通し穴のカーテンテープ長手方向幅を略同一とすることにより、カーテン用フックをカーテンテープの長手方向に垂直なフック通し穴に脱着自在に挿入して掛止めすることが可能となる。

【0011】

好ましくは、本体部のカーテンレール長手方向幅は脚部の直径以上とする。足部は本体部よりも細幅とし、本体部の足部と対面する部分に足部よりも広幅の切り欠き部を設け、足部のカーテン側に突起を設けることが望ましい。

【0012】

カーテン用フック本体部の上端部両側から円筒部にまで延長するピン部を設け、そのピン部を拘束するピン受けをランナー本体脚部のカーテンレール長手方向に直交する両側に設けると、カーテン用フックを介してカーテンをカーテンレール長手方に対して垂直にすことができる。

【実施例1】

【0013】

図1は実施例1を備えたカーテンの要部背面図であり、図中の鎖線はカーテン生地とカーテンレールを示す。図2は実施例1の側面図、図3及び図4は差込フックの正面図及び縦断側面図である。

【0014】

図1及び図2に示すように、差込フック式カーテンランナー1は、本体2と、その本体2に鉛直軸を中心に回転可能にかつ上下摺動可能に支持される円筒体3と、その円筒体3に下から脱着可能に挿入される差込フック4とからなる。本体2は車輪5を備え、その車輪5によりカーテンレール6内を走行する。本体2の脚部7は、カーテンレール6を抜けて垂下し、円筒体3は、脚部7の円筒体受け部8に回転可能にかつ上下摺動可能に装着される。円筒体3の上半部は軸方向のスリットを介して半径方向に開閉する軸受部9に形成される。差込フック4の頭部10を下から円筒体3に挿入して円筒体3を上昇位置に移行させると、軸受部9は開いて内径が差込フック4の頭部10より大きくなるから、頭部10は軸受部9を突き抜ける。そこで、差込フック4を放して円筒体3を下降位置に戻すと、軸受部9は閉じて内径は差込フック4の頭部10より小さくなり、軸受部9は突き抜けた頭部10を下支えする。

【0015】

図3及び図4に示すように、差込フック4は、平板状の本体部11と、その本体部11の下端から上方へ折れる足部12と、本体部の上端中央から延長し先端が太い頭部10に形成されたする軸部13とを備える。足部12は、本体部11よりも細幅であり、本体部11に対する面には突起14を有する。本体部11の足部12と対面する部分には足部12

より広幅の切り欠き部15が設けられ、上端部両側から上方にピン部16が延長する。

【0016】

図1及び図2に示すように、カーテン17に接着されたカーテンテープ18のフック通し穴部19は、カーテンレール6の長手方向に垂直であり、そのカーテンレール長手方向幅は脚部7の直径よりも大きく、差込フック4の本体部11とほぼ同じである。差込フック4の本体部11をほぼ同幅のフック通し穴19部に挿入して足部12を掛けると、差込フック4の位置と姿勢は安定し、頭部10はカーテンレール長手方向に対して垂直に突出する。このとき、差込フック4の足部12は、カーテンテープ18を本体部11の切り欠き部15に押し込み、その突起14はカーテンテープ18に食い込むから、差込フック4とカーテンテープ18相互のずれは規制され、差込フック4の頭部10の姿勢と位置はより安定する。その結果、差込フック4と共にカーテン17を持ち上げ、差込フック4の頭部10をカーテンレール6に取り付けたカーテンランナー1の円筒体3に下から挿入して差込フック4を本体2に装着する作業は、従来の差込フックの位置と姿勢が不安定であったものに比べると、著しく容易である。吊り下げたカーテンは、自然で優美なひだを発現する。発現するひだの幅は、差込フック4を掛止めするフック通し穴19部を適宜に選択して調整する。

【実施例2】

【0017】

図5は実施例2を備えたカーテン先端部又は末尾部の要部背面図であり、図中の鎖線はカーテン生地とカーテンレールを示す。図6は実施例2の側面図である。

図5及び図6に示すように、実施例2は、マグネット式吸着部20を備えた差込フック式カーテンランナー1aであり、カーテンの先頭及び又は末尾を吊り下げる。この差込フック式カーテンランナー1aの本体2aは2組の車輪5aでカーテンレール6内を走行する。本体2aから垂下する脚部7aはアーム22により補強される。脚部7aは下部のカーテンレール長手方向に直交する両側にピン受け部21を一体に備える。本体2aに下から装着する差込フック4は、実施例1と同じである。

【0018】

ピン受け部21は脚部7aからカーテンレール長手方向に直交する水平方向に延長する2つの平行な平板からなり、その2つの平板の間に差込フック4の2つのピン部16を入れると、差込フック4の回転は規制され、差込フック4の平板部11はカーテンレール6の長手方向に直交するから、差込フック式カーテンランナー1aがカーテンテープ18を介して支持するカーテン17の先頭部又は末尾部は、常にカーテンレール6の長手方向に垂直な姿勢を維持してひだを誘発する。このように、実施例2は、ひだが発現しにくいカーテン先頭部又は末尾部にひだを発現させるという格別の効果を奏する。実施例2の上記以外の構成及び効果は、実施例1と同じである。

【実施例3】

【0019】

図7及び図8は、実施例3を示す正面図及び側面図である。

図に示すように、実施例3のリングフック4bは、周知のリングフック式カーテンランナー1bに使用する。リングフック4bは軸部13の先端がフック24を形成する。そのフック24をリングフック式カーテンランナー1bのリング23に掛ける。上記以外の構成及び効果は、実施例1と同じである。

【図面の簡単な説明】

【0020】

【図1】実施例1を取り付けたカーテンレールの要部背面図、

【図2】実施例1の側面図、

【図3】差込フックの正面図、

【図4】差込フックの側面図、

【図5】実施例2を取り付けたカーテンレールの要部の正面図、

【図6】実施例2の側面図、

【図7】実施例3の正面図、

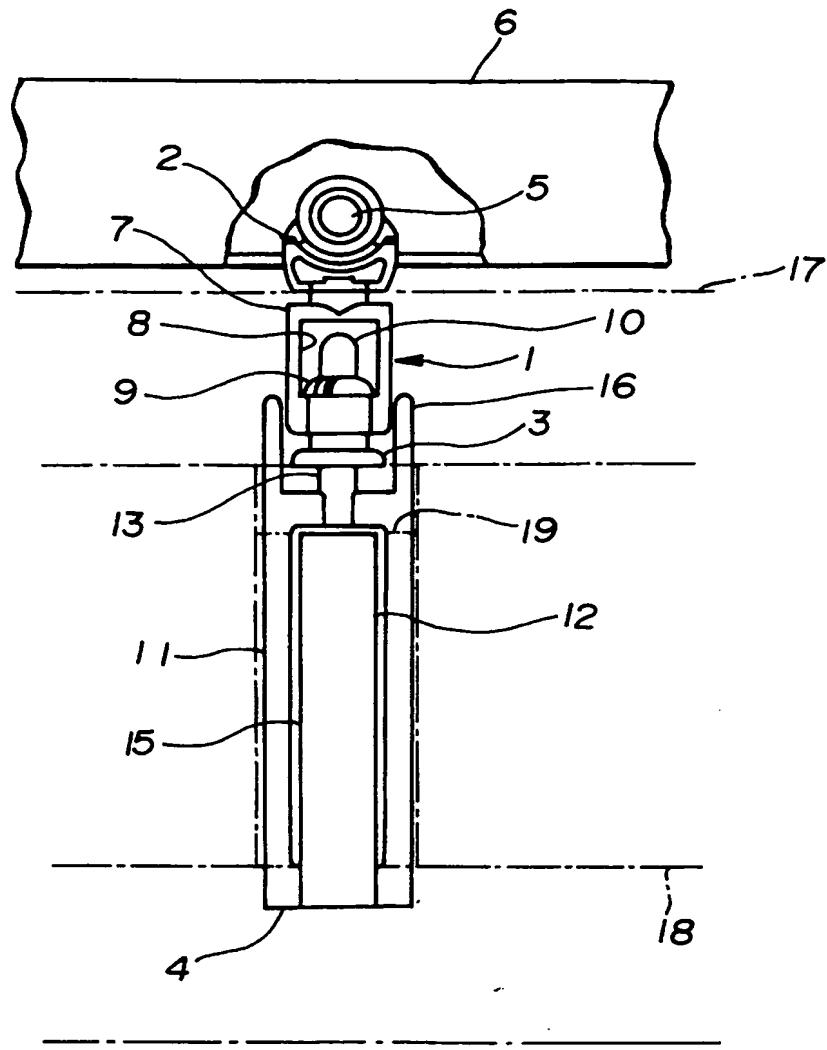
【図8】実施例3の側面図、

【符号の説明】

【0021】

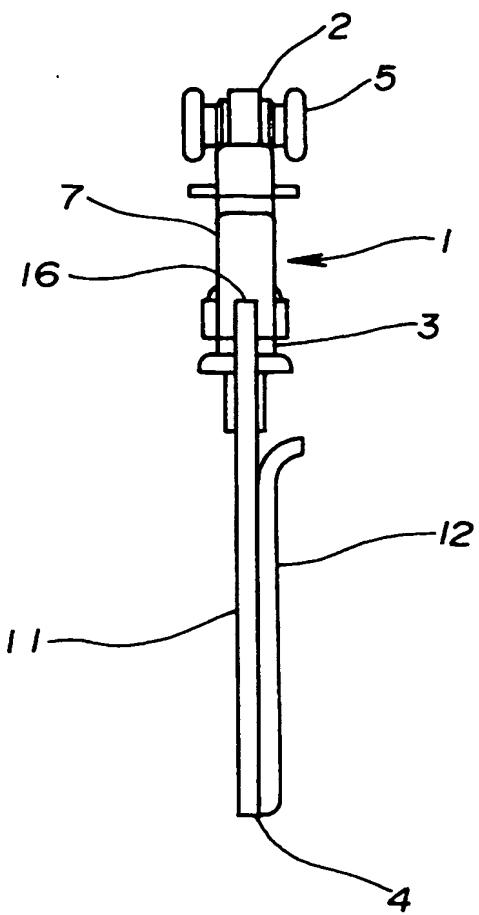
- 1、1 a：差込フック式カーテンランナー
- 1 b：リングフック式カーテンランナー
- 2、2 a：本体
- 3：円筒体
- 4：差込フック
- 4 b：リングフック
- 5：車輪
- 6：カーテンレール
- 7：脚部
- 8：円筒体受け部
- 9：軸受部
- 10：頭部
- 11：本体部
- 12：足部
- 13：軸部
- 14：突起
- 15：切り欠き部
- 16：ピン部
- 17：カーテン
- 18：カーテンテープ
- 19：フック通し穴部
- 20：吸着部
- 21：ピン受け部
- 22：アーム
- 23：リング
- 24：フック

【書類名】 図面
【図1】

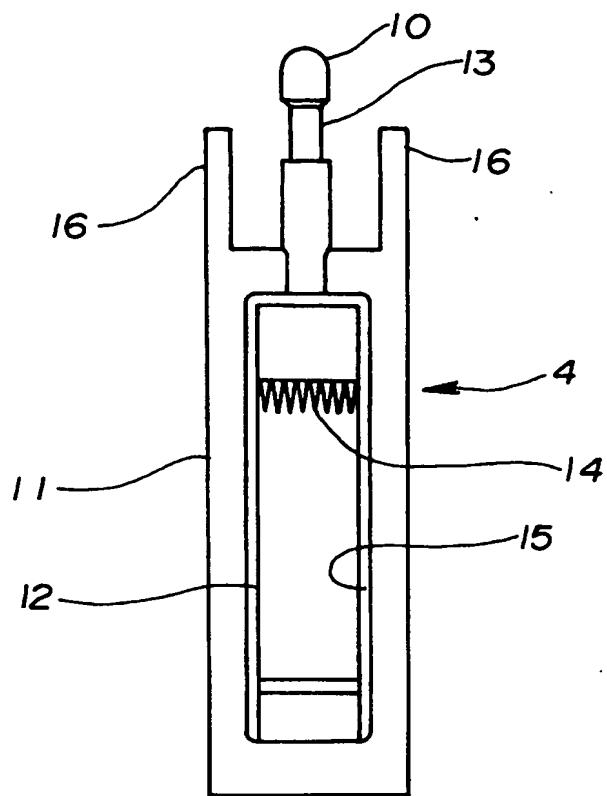


1 : 差込フック式カーテンランナー	10 : 頭部
2 : 本体	12 : 足部
3 : 円筒体	13 : 軸部
4 : 差込フック	15 : 切り欠き部
5 : 車輪	16 : ピン部
6 : カーテンレール	17 : カーテン
7 : 脚部	18 : カーテンテープ
8 : 円筒体受部	19 : フック通し穴部
9 : 軸受部	

【図2】

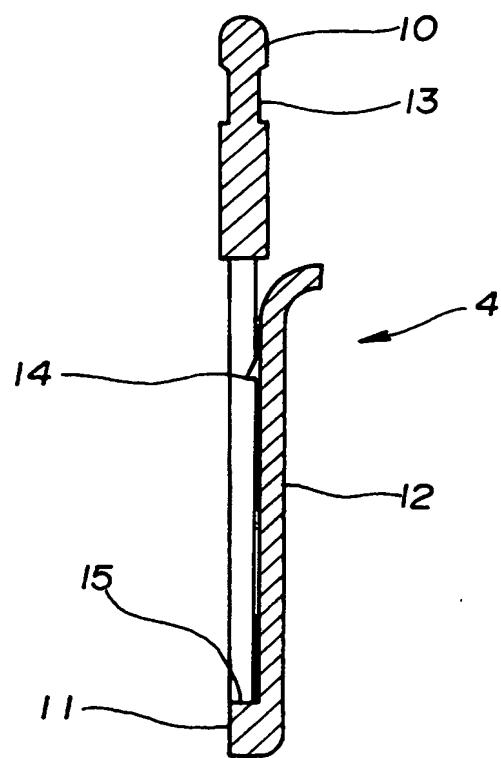


【図3】

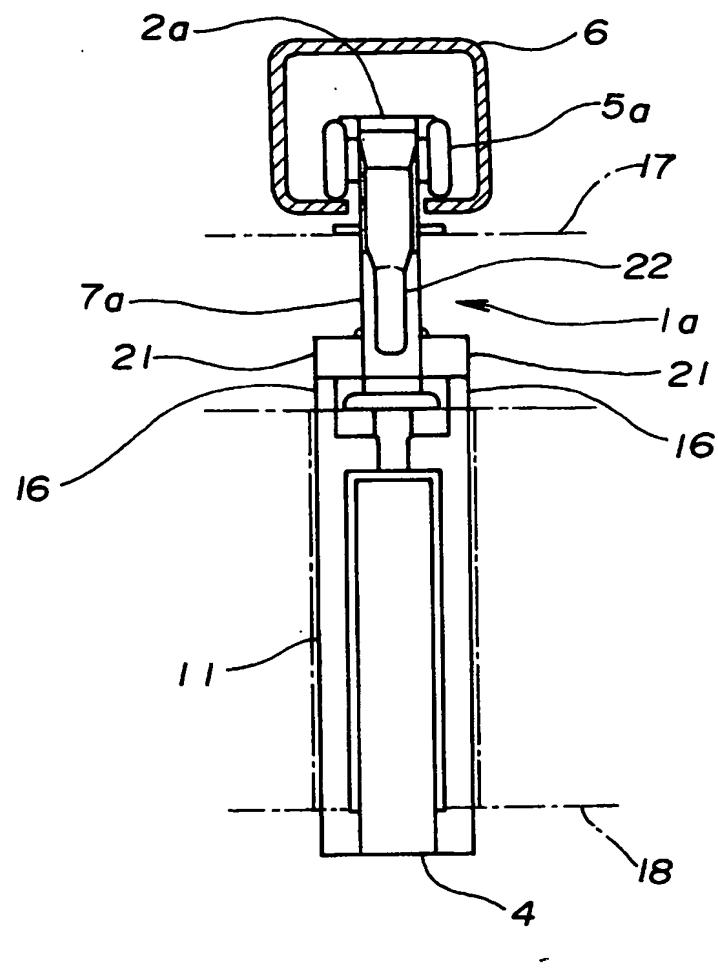


14:突起

【図4】

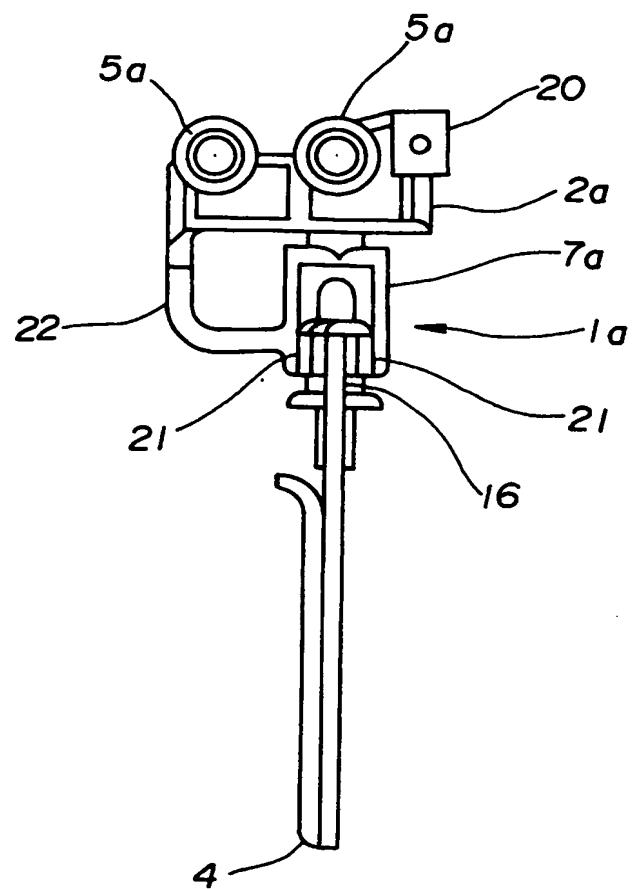


【図 5】

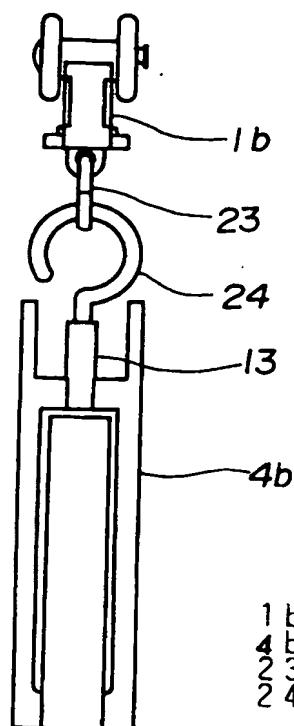


- 1 a : 差込フック式カーテンランナー
- 2 a : 本体
- 5 a : 車輪
- 7 a : 脚部
- 2 0 : 吸着部
- 2 1 : ピン受け部
- 2 2 : アーム

【図6】

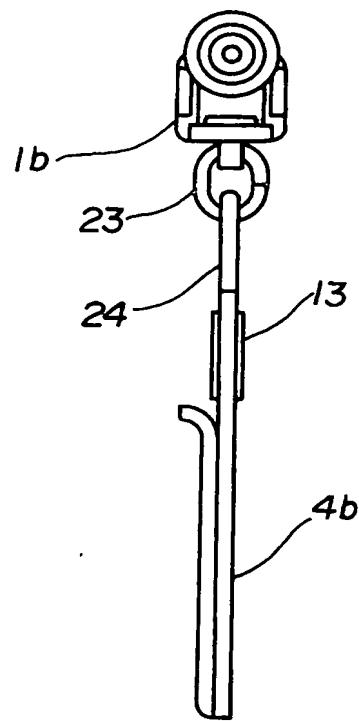


【図7】



1b : リングラック式カーテンランナー
4b : リングフック
23 : リング
24 : フック

【図8】



【書類名】要約書

【要約】

【課題】

カーテンに自然で優美なひだを発現させる偏平で広幅なカーテン用フックであって、カーテンテープに脱着可能なものを提供する。

【解決手段】

カーテン用フックを、カーテンレール長手方向に垂直なカーテン又はカーテンテープのフック通し穴部に挿入される平板状の本体部と、本体部の下端中央から上方へ折れてフック通し穴部に掛かる足部と、本体部の上端中央から延長する軸部と、軸部の先端に設けられる差込用頭部又はリング用フックとから形成し、本体部とフック通し穴部のカーテンレール長手方向幅は略同一とする。

【選択図】 図1

認定・イナカロ小青幸良

特許出願の番号	特願2003-351013
受付番号	50301686875
書類名	特許願
担当官	第二担当上席 0091
作成日	平成15年10月10日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成15年10月 9日
-------	-------------

特願 2003-351013

出願人履歴情報

識別番号 [000109923]

1. 変更年月日 1990年 8月 7日

[変更理由] 新規登録

住所 東京都中央区新川1丁目4番9号
氏名 トーソー株式会社

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.